

大規模ニュースを対象とした政治イベント情報抽出 におけるLLM活用の試行と課題

朝倉卓人 東海林拓人 韓南琦 阪本拓人 宮尾祐介 / 東京大学

背景と目的



情報抽出からみたPLOVER

課題

- PLOVERはかなり複雑
- 50ページ超の大仕様
 - 複雑な概念、依存関係

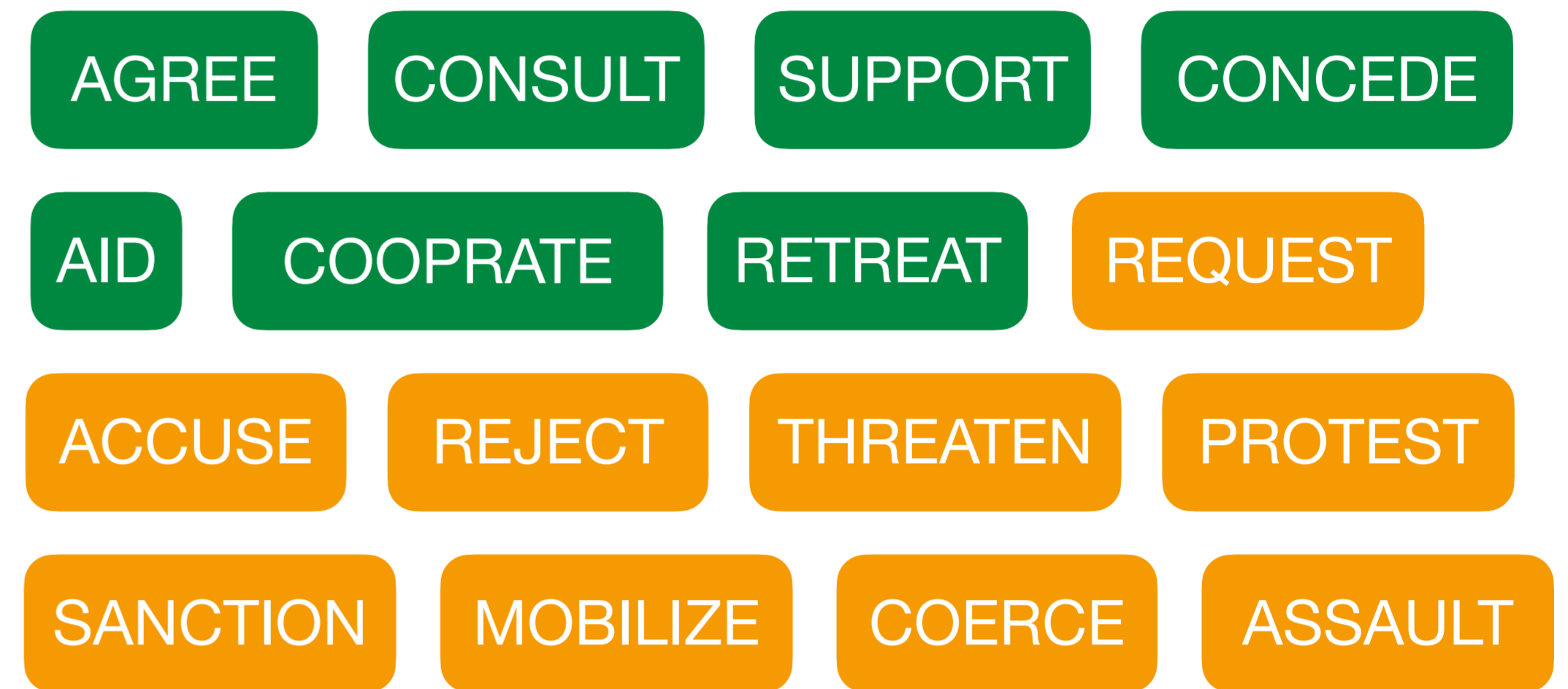
解法

Event typeの重点化

- Event type判定を優先
- 抽出対象の判定
 - 必須の属性が変動

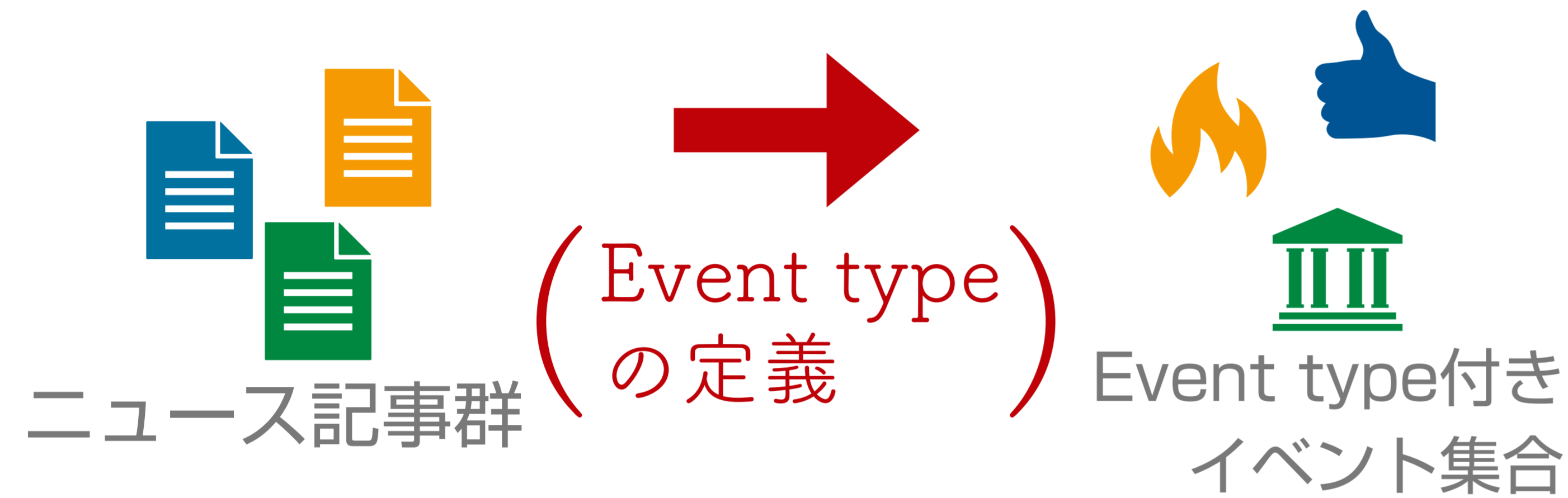
Event typeとは……

- 政治イベントのカテゴリ
協力的7種 + 敵対的9種
- Event typeにより抽出する
Attributesも異なる



情報抽出ワークフロー

第1段階 — Event typeの抽出

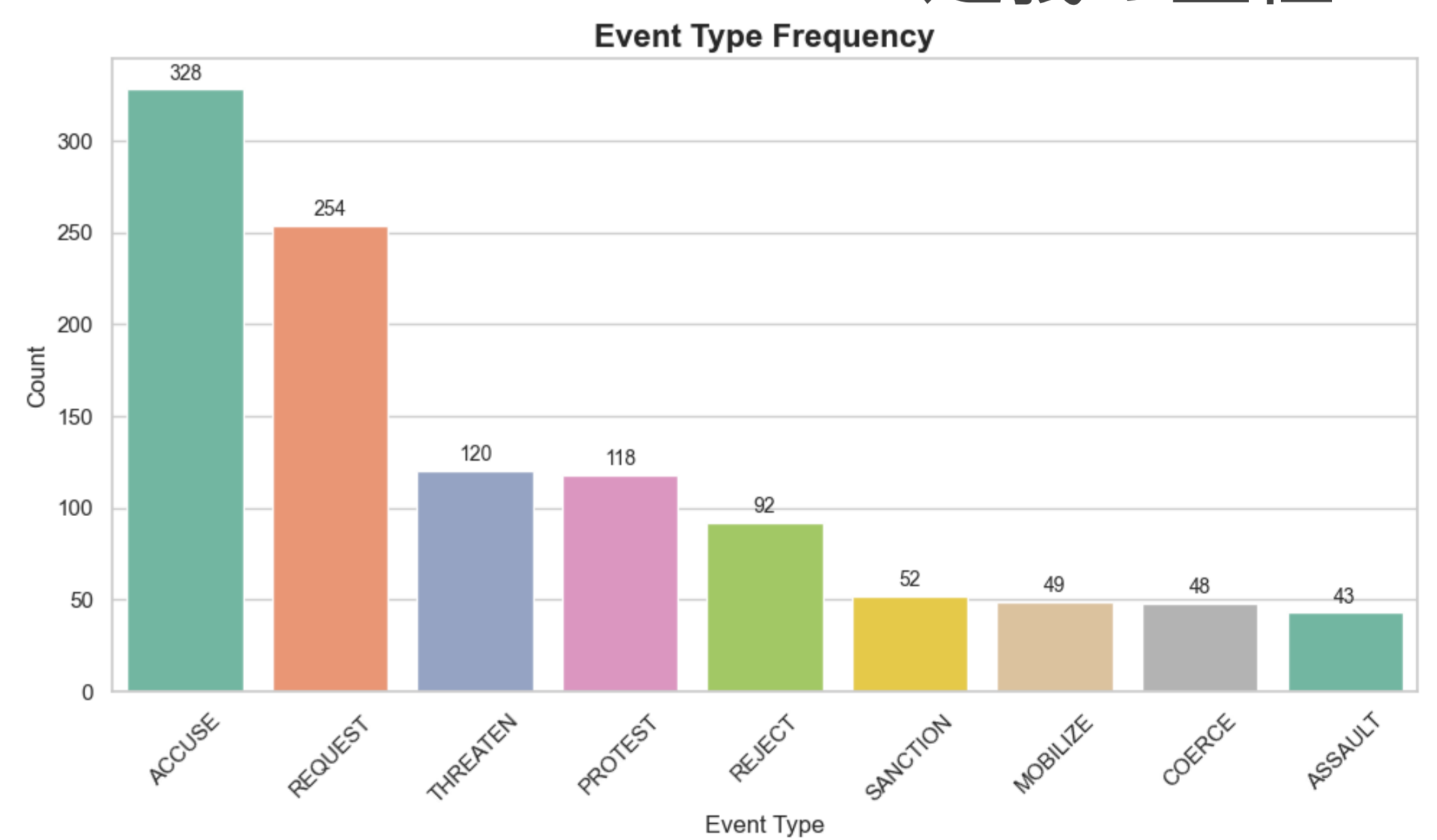


第2段階 — Attributes抽出



実験設定とEvent typeの頻度

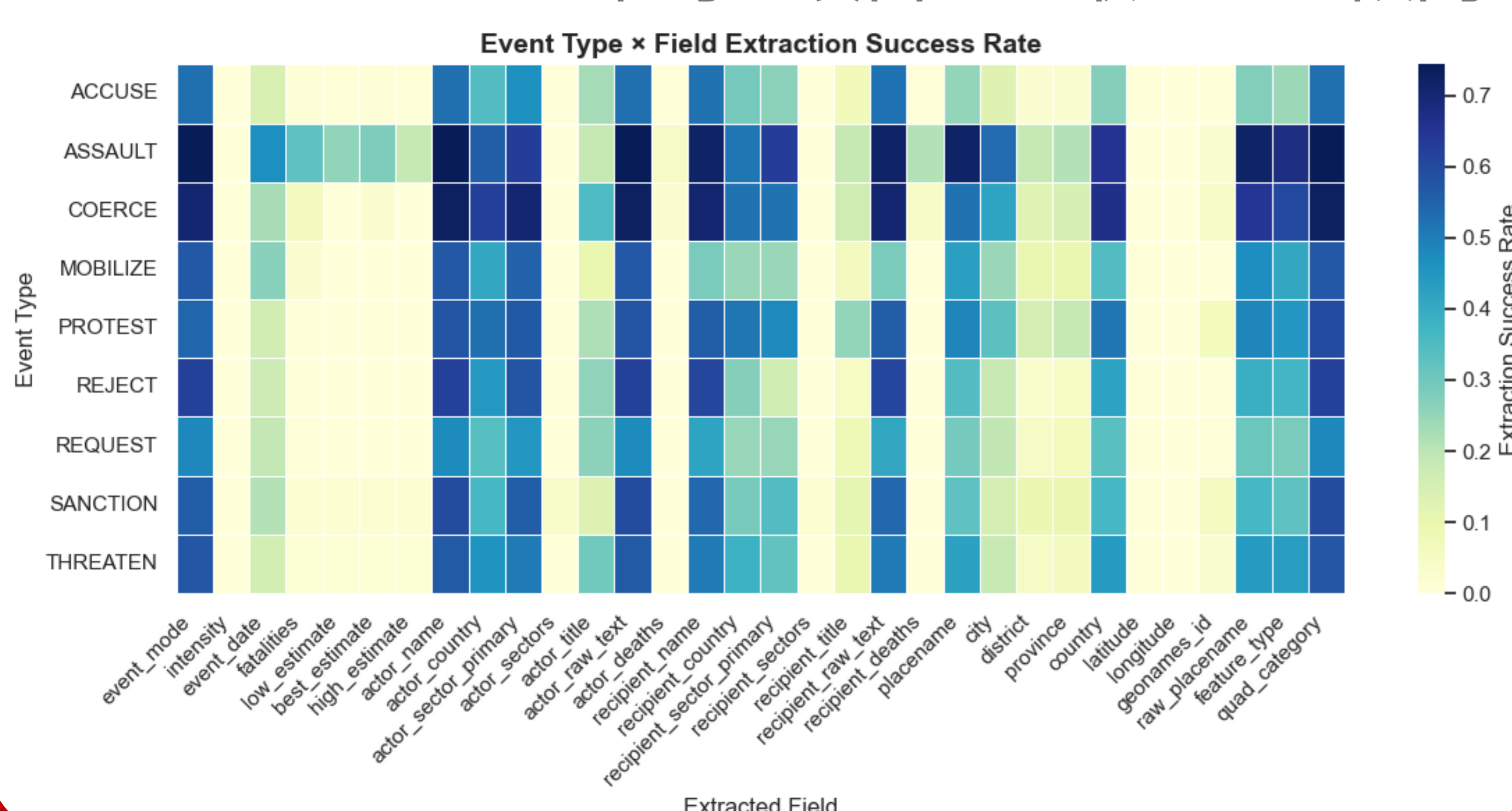
- 抽出対象のニュース記事 — 1,000件
 - Factiva収録の2024年1月の記事
- Event type — 敵対的イベント9種
- Attributes — PROVER定義の全種 + α



抽出成功ヒートマップ

Event typeによって抽出しやすい項目は異なる

- 全体としてASSAULTは成功率が高い
- MOBILIZEは基本的な項目でも取れない傾向



抽出データの人手評価

一部抽出結果を
専門家2名で評価

- 80イベント
- 3段階で評価
- Krippendorff's $\alpha = 0.42$ 程度

Event type判定

上端: ASSAULT 1.25
下端: MOBILIZE 0.45

Attributes抽出

右図。ばらつきあり

